

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月15日(2010.4.15)

【公開番号】特開2008-210184(P2008-210184A)

【公開日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-036

【出願番号】特願2007-46728(P2007-46728)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/033 (2006.01)

G 1 0 H 1/34 (2006.01)

G 1 0 H 1/053 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/033 3 4 0 F

G 1 0 H 1/34

G 1 0 H 1/053 C

G 0 6 F 3/16 3 3 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ユーザの操作に応じて動作する操作子であって、互いに異なる 3 つの方向に動作可能な操作子と、当該操作子の動作を前記 3 つの方向の成分に分解して検出し、各方向の動作を示す動作信号を方向毎に出力するセンサとを含む入力デバイス、をマトリクス状に複数配列してなる操作パネルと、

(B) 前記マトリクス状に配列された入力デバイスの一方の配列方向に沿って、順次、各入力デバイスから出力される動作信号に応じた音響パラメータまたは音響効果を決定して楽音制御信号を出力する制御手段と、を有し、

(C) 前記 3 つの方向の各々には、夫々異なる音響パラメータまたは音響効果が対応付けられている

ことを特徴とする演奏制御装置。

【請求項 2】

前記マトリクス状に配列された入力デバイスの各々には音データが対応付けられているとともに、前記制御手段は、入力デバイスから出力される動作信号を受け取った場合に、その入力デバイスに対応する音データの音をその動作信号に応じた音響パラメータの表す態様で出力することを表す楽音制御信号、または当該音データの音にその動作信号に応じた音響効果を付与して出力することを表す楽音制御信号、を生成し出力することを特徴とする請求項 1 に記載の演奏制御装置。

【請求項 3】

前記マトリクス状に配列された入力デバイスの他方の配列方向は、入力デバイスに対応付けられている音データの音高を表わすことを特徴とする請求項 2 に記載の演奏制御装置

。

【請求項 4】

前記操作子は球状に形成されているとともに、前記センサは前記操作子の前記３つの方向のうちの２つの方向の各々に沿った回転軸を中心とした回転動作を検出するとともに、残りの方向に沿った移動動作を検出して前記動作信号を出力し、

前記各回転軸を中心とした回転動作の各々には音量とベロシティがそれぞれ対応付けられており、前記移動動作にはピッチベンドが対応付けられていることを特徴とする請求項１から３の何れか１に記載の演奏制御装置。

【請求項５】

前記センサは、前記操作子の回転量、回転速度および回転加速度の何れかを計測することで前記操作子の回転動作を検出することを特徴とする請求項４に記載の演奏制御装置。

【請求項６】

前記移動動作の検出には、感圧センサを用いることを特徴とする請求項４または５に記載の演奏制御装置。

【請求項７】

記憶手段を備え、

前記制御手段は、記録モードと再生モードの何れかの作動モードで動作し、記録モードの動作においては、入力デバイスから出力される動作信号をその出力元の入力デバイスに対応付けて前記記憶手段に書き込む処理を行い、再生モードの動作においては、入力デバイスに対応付けて前記記憶手段に記憶されている動作信号を前記記憶手段から読み出して前記楽音制御信号を出力することを特徴とする請求項１～６の何れか１に記載の演奏制御装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】演奏制御装置